

平成 22 年 4 月 1 日

平成 22 年度 松江第三中学校 学校経営方針

江戸川区立松江第三中学校 校長 三 島 紀 人

新入生 153 名を迎え平成 22 年度が始まりました。生徒の実態に基づき、東京都及び江戸川区教育委員会の教育目標をふまえ、地域や関係の皆様のご尽力を仰ぎ、保護者の方々と連携し、教職員は共通理解を図り、共同して生徒たちを指導します。

教育理念

1 学校教育目標

- ・素直で明るい、心豊かな生徒に育てる。
- ・自ら進んで、よく学びよく働く生徒に育てる。
- ・責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒に育てる。

2 めざす生徒の姿

- ・生命を尊重して自他を大切にする生徒
- ・美しいものに感動し、優しさと思いやりに溢れた生徒
- ・勤労を尊び、協調と協働、忍耐と活力、向上心と創造性に溢れた生徒
- ・自主的・主体的で自立心をもち、自律的な行動様式を備えた礼儀正しい生徒
- ・自己の将来を考え、今を努力する生徒

3 めざす学校の姿

静寂と躍動の織り成す学校

- ・明るく静かで、安心して落ち着いて学べる学校
- ・生徒の主体性が生かされ、存在感・成就感を得られる学校
- ・愛情に基づいた厳しい指導の下、けじめのある規律正しい学校
- ・相互の理解と信頼に支えられ、言語環境の整っている学校

生徒・保護者・地域・教職員が誇る学校

- ・挨拶がこだまする学校 生徒が愛着をもって校歌を歌う学校
- ・保護者が進んで弟妹を入学させようとする学校
- ・地域の方から進んで力を貸していただける学校
- ・教職員がこれからも勤めたいと思う学校

4 めざす教師の姿……恩師と言われる教師

- しっかりと勉強を教える教師 愛情をこめて厳しく優しく指導する教師
- 心身の健康を考えさせる教師 意欲的に活動させる教師
- 学校予算を有効に活用する教師
- 自己研鑽に励む教師 将来を考える教師 ストレスを溜めない教師
- 組織目標の中に自己の職務を位置付けられ、協調・協働できる教師
- 保護者・地域から信頼される教師

5 めざす職員の姿……お世話になったと言われる職員

- 学校予算を効率的・計画的に執行する職員
- 食育を推進し美味しい給食をつくる職員
- 施設・設備の安全を確保し校舎・校庭を整備し美しくする職員
- 自己研鑽に励む職員 将来を考える職員 ストレスを溜めない職員
- 組織目標の中に自己の職務を位置付けられ、協調・協働できる職員
- 保護者・地域から信頼される職員

6 学校運営の充実

- 職員会議・企画委員会・分掌部会・学年会・校内研修会・各委員会の一層の活性化
- パソコン校務支援システムの本格的活用
- 学校施設・設備の安全確保
- 学校評議員会・民生児童委員との会の充実、学校応援団の設立・親父の会の再開

- 7 校長・副校長・主幹は教職員がそれぞれの良さと力を最大限発揮できる環境をつくる
学校全体の様子を把握するとともに、教職員一人一人に目を配り、理解する。
保護者や地域の方への対応は、状況を的確に把握し誠実に行う。
学校教育に保護者や地域の方々の力を借りられるよう要請する。

学校教育の重点

- 1 生徒の学ぶ意欲の向上に努め、基礎学力の伸長を図る
授業の充実 校内研修会の充実 新教育課程への対応 朝読書の実施
図書室の活用 パソコン室の活用 各種考査の実施 土曜学習教室の実施
小学校との連携
- 2 家庭と連携を強め生活リズムを向上させ、落ち着いた生活態度の涵養など健全育成を図る
挨拶運動の展開 不登校対応の充実 家庭学習キャンペーンの展開
校内研修会の充実 道徳授業地区公開講座の実施 生活リズム向上公開講座
の実施 三者面談の実施
- 3 心身の健康促進に努める
保健指導の充実 食育の充実 スクールカウンセラーとの連携
学校保健委員会の開催 学校給食運営委員会の実施
- 4 生徒の自主的な活動を促進する
学校行事・学年行事の充実 生徒会活動・部活動・ボランティア活動の一層の活
性化
- 5 進路選択能力の育成に努める
チャレンジ・ザ・ドリームの実施 上級学校訪問・進路説明会・三者面談の実施
- 6 道徳教育を充実させる
学年会での検討をもとにした道徳の時間の確保と内容の充実
道徳授業地区公開講座の実施
- 7 特別支援教育を推進する
支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の充実
副籍制度対応の充実 校内研修会の実施
- 8 防災教育を推進する
生命尊重の精神の育成 防災組織の担い手としての自覚の形成 消防署・地域
住民との触れ合いを通じた社会貢献・奉仕の精神の育成
避難訓練・安全指導・防災体験学習・セーフティー教室等の実施
地域住民参加の防災活動の実施 地域の防災訓練・各種イベントへの参加
- 9 環境教育を推進する
美化・清掃活動の充実 もったいない運動の実施
- 10 地域の方々のご理解とご尽力を得て、連携を図った教育を推進する
チャレンジ・ザ・ドリームの実施 民生児童委員との連携強化 学校応援団の設立

教職員の心

- ・公立中学校の教職員であることに誇りをもつ。
- ・自分の専門教科・担当分野に磨きをかけて、プライドをもつ。
- ・どの生徒をも包み込んでいく指導・対応をする。
- ・保護者とは、できる限り学校の情報を伝えたり、意見・要望にも耳を傾けたりしな
がら、信頼関係を築いていく。
- ・地域の方々には感謝の気持ちをもって対応し、協力していただく。
- ・学校は組織で動いていることを心がける。
- ・同じ職場で働く者としてお互いを尊重し合う。
- ・事故発生時には、校長の指揮の下、組織的に迅速・的確かつ誠意ある対応をする。
- ・会計事故等の服務事故を起こさないよう、日常から組織として十分注意する。
- ・日頃から、自己の心身の健康管理には十分配慮する。
- ・家族には感謝の念をもち大切にす。